

—業務予定—

●春季岩手山演習場整備
(5月7日～14日)

●総合戦闘射撃
(5月21日～5月28日)

つがる

発行
弘前市防衛協会
商工会議所協力会事務局

小野印刷
弘前市富田町52
電話 32-7471(代)

新指揮官、着任！

天内明弘 1等陸佐 着任式 ・ 関連記事 2面



陸自最強指揮官、
弘前の地離れる

コロナ渦市民の皆様に笑顔と
元気と感動を！

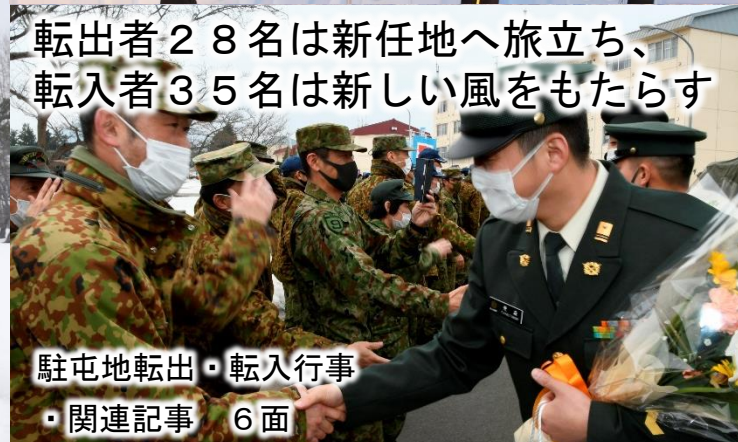


木原邦洋 1等陸佐 離任式
・ 関連記事 3面

第45回弘前城雪燈籠まつり協力
・ 関連記事 4面

冬季も日頃の成果を遺憾なく
発揮！

転出者28名は新任地へ旅立ち、
転入者35名は新しい風をもたらす



令和2年度中隊冬季検閲
・ 関連記事 5面

駐屯地転出・転入行事
・ 関連記事 6面

新指揮官、着任！

天内明弘 1等陸佐 着任式



第9師団長から紹介を受ける天内連隊長



記念撮影

三月十五日付で第三十一代第三十九普通科連隊長兼ねて第二十九代弘前駐屯地司令に着任した天内明弘（あまない あきひろ）一等陸佐の着任式を十五日、第九師団長（亀山陸将）立会のもと、実施した。

七時十分、駐屯地各部隊長の出迎えを受け、初登庁。幹部挨拶の後、体育館において行われた着任式では、「自ら考え、判断し、行動せよ」「地域と共に。仲間・家族、そして自身を大切に」を要望し、歴代連隊長が築き上げてきた部隊の伝統をしっかりと継承しつつ、新たな時代に向けた「健全で精強な郷土愛溢れる第三十九普通科連隊の創造」を目指し、連隊長として連隊の全責任を負い、隊員諸官とともに苦楽を共にすることを誓うと述べた。

その後、観閲行進、状況報告、隊内巡視にて各部隊の状況を把握し、連隊長、駐屯地司令としての業務を開始した。



駐屯地各部隊長の出迎えを受け、初登庁



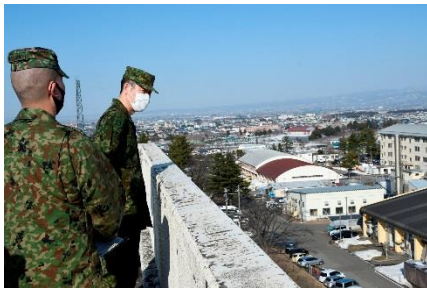
幹部挨拶



観閲行進



状況報告の様子



駐屯地内隊舎屋上にて地点指示の様子



隊内巡視

新・車検システム導入
車検が60分でOK!
手ばり9,800円

整備保証付
土・日・祝日も営業
車にやさしい思いやり
ローコストクラブ

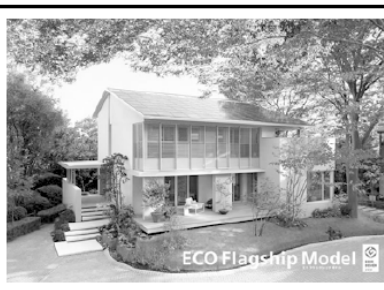
要予約
●お客様が来社して自分のお車を確認しながら行います。
●ご利用されます方は予約が必要です。電話受付しますと係員がお伺いします。
*5ナンバーサイズの2000ccまで

（株）東海自動車工業
弘前市神田1丁目5-4 TEL.0172-33-7700

ミサワホーム 弘前新展示場

創エネルギー&省エネルギー効率を追求した「ECOフォルム」の住まいです。

周囲に馴染みながらも、存在感のある大窓の豪華な外観です。太陽光や大断熱による創エネルギー効率を高め、日射量の多い夏場をより大きく設計し、全棟に太陽電池モジュールを標準。住まい全体に最先中道風を追求する基本設計中。高断熱・高断熱仕様など、省エネルギー効率も追求した「ECOフォルム」の住まいです。



案内図

〒030-0854 青森県弘前市神田1丁目5-4
0120-330-415

（株）東北ミサワホーム 弘前店
お買い合わせ
お問い合せ
GHP<http://tohoku.misawa.co.jp> 0120-330-415

陸自最強指揮官、弘前の地離れる

木原邦洋 1等陸佐 離任式



39連隊隊員に対して39連隊長としての最後の敬礼

令和三年三月十三日、第三十九普通科連隊長兼ねて弘前駐屯地司令の木原邦洋（きわらくにひろ）一等陸佐の離任式が行われた。木原連隊長は、二十一年間無敗だったFTC部隊を破り、陸自初となる米国においてのJRTC訓練での任務完遂、初運営となる北海道での八夜九日間にわたるHTC訓練での任務完遂、師団射撃競技会での四連覇達成など指揮官として様々な成果を成し遂げてきた。離任の辞において木原連隊長は「新天地において、三十九連隊の益々の活躍を期待している。」と述べた。見送りにおいて、今回の定期異動で全国に異動する二十八名の隊員と握手を交わし、弘前駐屯地を後にした。



辞令書の伝達



第9師団長から紹介を受ける



連隊長に敬礼！！



離任の辞を述べる木原連隊長



記念撮影



定期異動で弘前駐屯地を異動する隊員と握手を交わす木原連隊長

BREITLING
1884

JEWELRY KAMATA
www.j-kamata.com
弘前本店 / 弘前市宮川2-1-11 TEL : 0172 (32) 3730

夢・人・街……

ART 株式会社 **アート不動産**

代表取締役 桜澤睦子

〒036-8203 青森県弘前市本町34番地1
TEL 0172-31-8131 FAX 0172-31-8228
http://art-fudosan.jp/

（社）青森県宅地建物取引業協会会員
不動産ネットワーキングサービスマン会員店
日本共済株式会社代理店

JUIDA 認定 **青森ドローンスクール**
—会場：弘前モータースクール他—

ライセンス取得
ドローン体験
法令セミナー
出張イベント

空撮
各種講習会
機体販売
ドローンのことなんでも
お問い合わせください

TEL:0172-28-2727 青森ドローンスクール 検索

コロナ禍でも市民の皆様にも笑顔と元氣と感動を

第四十五回弘前城雪燈籠まつり協力

弘前駐屯地は二月十日、弘前城雪燈籠まつりの大雪像完成報告式を行った。「みちのく五大雪まつり」の一つである弘前城雪燈籠まつりは弘前市が主催しているもので、弘前駐屯地は地域住民との一体感を深めるとともに、自衛隊に対する理解と信頼の醸成を図ることを目的に一九七七年の第一回目から協力し、今年で四十五回目を迎える。

式は、まつりのメイン会場となる弘前公園内「四の丸」で行われ、協力隊長（第三十九普通科連隊本部管理中隊長・工藤一尉（当時））が大雪像の完成を駐屯地司令に報告した。制作期間中、協力隊は度重なる雨天や寒波などの気象条件に見舞われながらもこれを克服し、根強い努力により大雪像一基と滑り台二基を見事に完成させ、任務を完遂した。

完成報告式の後、メイン会場では雪燈籠まつり開会式が実施された。式では、まつり運営委員長である櫻田宏弘前市長より協力隊へ感謝と労いの言葉が贈られた。また、木原司令（当時）から櫻田市長に対して「雪像完成引渡書」が手渡され、雪燈籠まつりが盛大に開幕した。

今年の大雪像は、明治・大正期に実業家・福島藤助により建設された「弘前れんが倉庫美術館」（旧・吉野町煉瓦倉庫）であり、実物の三分一の大さで高さ五メートル、幅一六メートル、奥行き五・五メートル、雪の量は大型ダンブ約四百十台分使用し、訪れた市民や観光客を楽しませた。また二基の滑り台の前には大勢の子供達が列を作り、歓声を上げながら滑っていた。さらに、今年には自衛隊のブースを設け制作風景を動画で流すなど広報活動にも力を入れた。今年にはコロナ禍により例年にならば観客はまばらではあったものの、会場に訪れた方々が笑顔になるまつりとなった。



完成した大雪像「弘前れんが倉庫美術館」



多くの来場客でにぎわう滑り台

新成人52名、決意を新たに

令和3年弘前駐屯地成人式



一段と遅しく成長した52名の新成人達

弘前駐屯地は一月八日、駐屯地において令和三年弘前駐屯地成人式を実施した。今年には駐屯地所在部隊の隊員六十人が成人を迎え、当日は訓練のため参加できない隊員を除く五十二人が出席した。

式は、新型コロナウイルス感染拡大防止により来賓の出席や声を出しての国歌斉唱を中止するなどの対策が講じられた。なお、来賓予定であった櫻田宏弘前市長からは、ビデオメッセージにより新成人への感謝と激励の言葉を頂いた。

式において木原司令（当時）は「成人おめでとう。成人となることを機にますます輝いていくことを願う」と訓示。また、新成人を代表して第三普通科直接支援中隊の小松伸一朗三曹が決意表明を実施。「より一層自分を律し市民の一人として、自衛官として貢献したい」と力強く述べた。

午後、新成人者は座禅を実施するため弘前市内の寺院（盛雲院）に移動。二十歳という人生の節目を迎え、自身の責任と義務を醸成する記念すべき日となった。

円滑な大会運営に協力

第43回東北高等学校スキー選手権大会兼あじやらカップスキー大会協力




急斜面において安全ネットを設置

弘前駐屯地は一月二十五日から二十八日までの間、第四十三回東北高等学校スキー選手権大会兼あじやらカップスキー大会に協力した。

本スキー大会の協力は、参加選手及び地域の人々に対し、自衛隊に対する一層の認識と理解を深めることを目的に行われており、協力隊長（本部管理中隊長・長浜准尉）以下三十五名が参加した。

協力隊は、準備期間においてはテントの設置、安全ネットの設置などを行った。また、大会期間中はコース要所に隊員を配置しコースの補修、選手への安全確保を実施し、円滑な大会運営に寄与した。


祖国と郷土の平和繁栄の守護神
 弘前公園四の丸鎮座
青森縣護國神社
 宮司 齋藤 毅
 社務所 青森県弘前市大字下白銀町1-3 TEL (0172) 32-0033

弘前 青森 アパート・マンション **八戸 五所川原**
7,500件以上!
青森県内4店舗のネットワークで
売買物件・賃貸物件をお探しします。
 **株式会社 太陽地所**

 農知事免許(11)1708号 東北地区不動産公正取引協議会加盟事業者 (公社)青森県宅地建物取引業協会会員
 〒036-8004 弘前市大字大町3丁目1-2 TEL0172(33)4445 FAX0172(33)4519
 http://www.taiyojisho.jp/ E-mail spg@taiyojisho.jp


PARK 弘前パークホテル
 HIROSAKI PARK HOTEL
 〒036-8182 弘前市土手町126
 TEL 0172-31-0089
 E-mail h-park@imgnjp.com

冬季でも日頃の成果を遺憾なく発揮！！



暴風雪警報が発令される中、果敢にスキー行進に挑む隊員

第三十九普通科連隊は、二月十五日から十八日までの間、弘前演習場及び周辺において第四中隊の冬季訓練検閲を実施した。この検閲は、昨年度から連隊が参加したFTCならびにJRTC及びHTCにおいて、最も活躍した第四中隊を冬季でも活躍できるかどうか検閲するものであり、また、次年度連隊が受関する冬季検閲に向けた練成の指標を得るために実施された。

当初、弘前駐屯地において冬季における戦闘基礎動作の練度を判定するため「冬季弘前B ASE」を実施。スキー装着時における各種射撃姿勢及びスキー行進要領（アキオ曳航・ジョーリング）を点検した。その後、演習場において約三十kmの距離を二日間わたり行進。行進間、現地では風速十五m（平均）の暴風雪警報が発令された中であったが、見事にこれを踏破した。行進後、第四中隊は攻撃準備に移行し、十八日早朝に敵第一線陣地を速やかに攻撃奪取した。また、冬季の特性を踏まえ、状況終了後に戦闘射撃訓練を実施、全ての任務を完遂した。

連隊は、これまでの成果を発揮し積雪寒冷地部隊としての任務を全うするため、引き続き冬季の訓練に励む。



攻撃要領を徹底



敵第一線陣地に対し攻撃



状況終了後、戦闘射撃訓練を実施



雪燈籠を灯し、ねぶたの絵を浮かび上がらせた

曹友会で雪燈籠を制作

千年園雪まつり協力

弘前駐屯地曹友会は二月七日、会長以下八名の会員で、障害者支援施設「千年園」において雪燈籠作成のボランティア活動を実施した。

この活動は、毎年弘前市内で「弘前城雪燈籠まつり」が開催されているが、施設利用者は祭り会場に足を運ぶのが困難なため、施設園内でも祭りの雰囲気を楽しんで頂く為に企画し、今回で十八回目となる活動である。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため人員と作業時間を削減、バケツと塩ビパイプを使って小型の雪燈籠を六十個作成した。夜に火を灯すと雪燈籠からは温かみのあるやわらかい光が照らされた。参加した会員や施設職員からは、「作成が容易なのに綺麗な明かりを灯してくれる。家で作っても子供が喜んでくれる。」と好評を博した。

弘前駐屯地曹友会は、今後もコロナ禍でもできることを模索しながらボランティア活動を通じて地域社会への貢献に努めていく。



登り坂を懸命に走る隊員達

中隊の名誉と誇りをかけて力走！

令和二年度 連隊冬季戦技競技会

第三十九普通科連隊は、三月二日、岩木山青少年スポーツセンターにおいて令和二年度連隊冬季戦技競技会を実施した。

この競技会は、冬季戦技能力の向上を図るとともに、次年度に行われる連隊冬季検閲を目標に隊員一人一人のスキー技術の向上及び次回の冬季戦技競技会における優勝奪還を目的に行われたもの。隊員は小銃含む十六キログラムの背囊を背負い、訓練の成果を十二分に発揮し、全長約六キロメートルの起伏の激しいコースを克服しながら中隊の名誉と誇りをかけて力走した。また、各ポイントやゴール付近では同僚隊員が声援を送るなど部隊の団結及び士気の向上を図る事が出来た。さらに駐屯地協力団体及びモニターの方々も見学に訪れた。モニターの方からは、「出走前の問診、計量等ここまで細かく行っていることに驚き、全力で走っている隊員を見て感動しました。」と感想をいただいた。

結果は、前競技会二位だった第二中隊が見事雪辱を果たし優勝した。

青森県自衛隊退職者津軽地区雇用協議会

企業の発展に自衛官退職者を！

会長 堀江 敏志

〈みちのく〉おまとめローン あわせ〜る

複数のお借入をひとつにまとめて 月々の返済額を軽減します！



くわしくはこちらへ



ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー
5年連続受賞(特別優秀賞3年連続)

ECO 住みひろさき FPの家

株式会社 長内建築事務所
〒036-8142 青森県弘前市松原西三丁目6-18
☎0172-87-4321 URL http://fp-4sun.jp/

転出者 28名は新任地へ旅立ち、

転入者 35名は新しい風をもたらす

駐屯地転出・転入行事

弘前駐屯地は三月十三日、定期異動に伴い転出行事を実施した。今回の定期異動で、幹部六名、曹士二十二名が北は北海道（美幌）、南は九州（前川原）へ異動となった。木原司令（当時）は送別の辞において「弘前駐屯地勤務者としての誇りをもって、新任地での活躍を期待する」と激励した。

転出行事終了後は各部（中）隊ごとに紹介行事を行った後、駐屯地全員が隊舎前のメイン道路に整列し、転出者は見送りを受け、万歳三唱と大勢の拍手の中、新任地へと旅立っていった。

また、二十六日には臨時駐屯地朝礼において転入者の紹介行事を行った。新たな戦力として、幹部十名、准曹二十五名の計三十五名が加わった。行事では当初、着任部隊長が紹介され、一人ずつ挨拶を述べた。その後転入者が紹介され、代表者が「弘前駐屯地の輝かしい歴史と伝統を汚すことのないよう誠心誠意勤務に専念していきます」と決意を表明した。

天内司令は転入者に対し「弘前駐屯地を更に光り輝かせるためには、全国各地から集まった皆さんの新しい風が不可欠です。これまでの伝統を基盤として、駐屯地が更に進化する原動力となることを期待します」と訓示し激励した。

転入者を含めた新たな弘前駐屯地の、今後の活躍にご期待ください。



駐屯地一同で盛大に見送り



転出者の記念撮影



転入者代表挨拶

転入部隊長等紹介



第3中隊長
3等陸佐
永田 耕太郎



本管中隊長
3等陸佐
木村 勝彦



業務隊長
2等陸佐
渡部 友善



援護センター長
1等陸尉
工藤 秀之



重迫中隊長
1等陸尉
本木 剛

定年退官者の紹介

永年の勤務、お疲れ様でした。

本部管理中隊

一等陸尉 長谷川 弘毅

陸曹長 齋藤 直邦

陸曹長 山田 浩次

第一中隊

陸曹長 工藤 敏信

第二中隊

准陸尉 佐藤 拓也

第四中隊

三等陸尉 工藤 公人

陸曹長 小倉 伸二

重迫撃砲中隊

陸曹長 山内 千年

業務隊

陸曹長 神 秀次

第九偵察隊

准陸尉 丹藤 光一

陸曹長 對馬 晃樹

偵察直接支援小隊

准陸尉 水木 茂

部内外成績優秀者

★第5回東北ミニバイアスロン大会

ライセンス保持者の部

第一位

重迫中隊 葛西 3曹

★第57回バイアスロン日本選手権大会

リレー競技 4 x 4・5 km 一般銃

第八位

第4中隊 奈良 3曹・本田 3曹

重迫中隊 葛西 3曹・田中 士長

★令和2年度全自衛隊美術展写真の部

入選 本管中隊 中野渡 1曹



「希望の光」

